

資料作成・公開に関する事業一覧

プロジェクト名	担当部門	頁
広報企画事業（情 03）	協力調整官 情報調整室	69
ホームページ及びデータベースの作成・管理（情 08）	情報調整室	70
黒田記念館における作品の展示公開 常設展（美 20）	美術部	73
黒田記念館における作品の展示公開 地方巡回展・所蔵作品の貸与（美 21）	美術部	74
資料閲覧室運営（情 04）	情報調整室	75
国際資料室の整備・公開・活用（セ 14）	国際文化財保存修復協力センター	76
伝統芸能の画像・音声・映像資料のデジタル化（芸 07）	芸能部	76
文化財保存に関する国際情報の収集及び研究 データベースの作成・公開（セ 13）	国際文化財保存修復協力センター	77
システム管理（情 02）	情報調整室	78
画像情報室の運営・設備（*情 06、情 07）	情報調整室	79

*注 画像情報室の運営・設備は、画像資料の収集・整理（情 06）及び写真機材・設備（情 07）の二つの事業の成果を総合して報告した。

広報企画事業（情 03-04-4/5）

情報調整室では、各研究部門の研究成果を外部へ発信すべく東文研 NEWS・概要・年報を定期的に発行している。

1) 東文研 NEWS

年 4 号を編集。研究所の研究活動のうち、速報性と公共性の高い情報を記事にして伝えている。平成 16 年度は、下記にしたがって 4 号を刊行したほか、各号は、PDF ファイルに変換し、ホームページ上で公開している。

- 17 2004 年 6 月 30 日発行 全 12 頁 記事 23 件 図版 20 件
- 18 2004 年 9 月 30 日発行 全 10 頁 記事 14 件 図版 16 件
- 19 2005 年 1 月 31 日発行 全 12 頁 記事 18 件 図版 18 件
- 20 2005 年 3 月 31 日発行 全 12 頁 記事 21 件 図版 14 件

なお、東文研 NEWS の PDF 版を公開しているホームページでは、既刊 20 号の全てについて、各記事の見出しを掲載し、利用者の便を図った (<http://www.tobunken.go.jp/japanese/publication/news.html>)。



東文研 NEWS 第 20 号



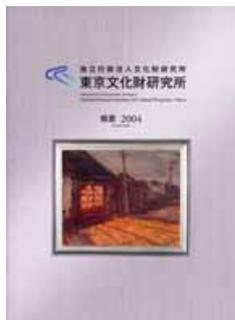
ホームページ上の東文研 NEWS

2) 概要

各年度のはじめに編集。研究所の組織の紹介や、各部ごとの当該年度のプロジェクトの紹介を、視覚的にわかりやすく、日英 2 カ国語で行っている。

3) 年報

各年度のはじめに編集。前年度の年次計画にもとづいたプロジェクト研究、科学研究費や受託研究による研究成果、その他、さまざまな研究会・研修等、研究所における全ての活動を網羅して報告し、自己点検評価・外部評価における基礎資料として活用できるよう編集している。また各年度の年報は PDF 形式でホームページ上でも公開している。



2004 年度概要 2004 年 5 月発行 全 33 頁



2003 年度年報 2004 年 5 月発行 全 257 頁

研究組織

三浦 定俊（協力調整官）、山梨絵美子、綿田 稔、皿井 舞、中村 明子（以上、協力調整官 情報調整室）

ホームページ及びデータベースの作成・管理 (情 08-04-3/4)

ホームページの作成と運用

当研究所のホームページは広報の場であるとともに、文化財研究のための基礎資料を網羅し、さらにそれを有機的に関連づけるデジタル・アーカイブ構想の有力なメディアとして機能している。なかでも黒田記念館のページでは、記念館が所蔵する黒田清輝の作品の紹介だけでなく、日記・書簡・自筆文献・白馬会関係資料等の基礎資料を提供し、黒田清輝研究のための知的データベースとして、より機能と内容の充実を図っている。

なお、各部のページは、自主的に更新されている。芸能部のページでは、実演記録を動画で視聴できるほか、保存科学部・修復技術部・国際文化財保存修復協力センターが合同して刊行している『保存科学』や、情報調整室が編集する東文研 NEWS・年報が、いずれも PDF 版として公開されている。

平成 16 年度の更新履歴

日付	更新内容	部署
04.04.01	保存科学部ページリニューアル	保存科学部
04.04.09	「東文研 NEWS」no.16 追加	協力調整官 情報調整室
04.04.27	第 28 回文化財の保存・修復に関する国際研究集会 「文化財の非破壊調査法 X線分析の最前線」	保存科学部
04.04.30	特別研究員(契約研究員)の募集について	国際文化財保存修復協力センター
04.06.01	高松塚古墳壁画の顔料分析に関する研究報告会のご案内	保存科学部
04.06.01	夏期学術講座開催のお知らせ	芸能部
04.06.18	デジタル画像体験「黒田清輝の目 風景・からだ・顔」追加	黒田記念館
04.07.01	中国語(簡体字)ページ追加	黒田記念館
04.07.02	研究資料検索システム伝統芸能関係図書データベース・近現代美術展覧会カタログデータベース・売立目録データベースの更新	協力調整官 情報調整室
04.07.02	情報調整室ページリニューアル	協力調整官 情報調整室
04.07.05	研究資料検索システム美術関係和漢書データベースの更新	協力調整官 情報調整室
04.07.09	夏季休館のお知らせ(04/07/21-08/31)	黒田記念館
04.07.09	資料閲覧室:夏季休室のお知らせ(04/08/11-17)	協力調整官 情報調整室
04.07.09	「東京文化財研究所年報 2003」追加	協力調整官 情報調整室
04.07.09	【速報】フランスの文化財保護に関する法令の枠組みの大幅な変更について	国際文化財保存修復協力センター
04.07.13	「東文研 NEWS」no.17 追加	協力調整官 情報調整室
04.07.20	研究資料検索システム保存修復関係図書データベースの更新	協力調整官 情報調整室
04.07.22	伝統的修復材料に関する研究会「打紙について」(04/08/31)	修復技術部
04.08.03	デジタル画像体験「黒田清輝の目 風景・からだ・顔」 (04/09/02-11/07)	黒田記念館
04.08.17	特別講演会「文化財の生物被害 微生物と害虫対策の両面から」 (04/10/06)	保存科学部
04.08.24	第 15 回近代の文化遺産の保存修復に関する研究会「大型構造物の保存修復と活用」(04/10/04)	修復技術部
04.09.08	第 38 回オープンレクチャー「日本における外来美術の受容」 (04/11/05-06)	美術部
04.09.30	研究資料検索システム 古美術展覧会カタログデータベース外部公開開始	協力調整官 情報調整室

日付	更新内容	部署
04.09.30	2004 秋上野の山文化ゾーンフェスティバル特別公開 (04/11/01-07)	黒田記念館
04.10.07	第 7 回民俗芸能研究協議会「民俗芸能の公開をめぐる」(04/11/18)	芸能部
04.10.13	第 16 回近代の文化遺産の保存修復に関する研究会「大型構造物の保存修復と活用～ヨーロッパにおける事例」(04/11/17)	修復技術部
04.10.29	第 35 回公開学術講座「鹿島踊の諸相」(04/12/26)	芸能部
04.11.16	「東文研 NEWS」no.18 追加	協力調整官 情報調整室
04.11.16	国際シンポジウム「世界遺産パーミヤーン遺跡を守る 現場からのメッセージ」(04/12/21)	国際文化財保存修復協力センター
04.11.24	資料閲覧室:年末年始休室のお知らせ(04/12/25-05/01/06)	協力調整官 情報調整室
04.11.24	冬季休館のお知らせ(04/12/26-05/01/07)	黒田記念館
04.11.26	所蔵作品の公開情報追加	黒田記念館
04.12.08	ライトアップ再開(04/12/01-, 17:00-21:00)	黒田記念館
04.12.24	第 1 回文化財の防災計画に関する研究会「文化財防災への道」(05/01/28)	修復技術部
04.12.28	異文化受容と美術第 1 回ミニ・シンポジウム「高麗初期石造菩薩像について」(05/01/26)	美術部
05.01.06	所蔵作品の公開情報更新	黒田記念館
05.01.25	特別研究員(契約研究員)の募集について	国際文化財保存修復協力センター
05.02.01	異文化受容と美術第 2 回ミニ・シンポジウム「日本の外国文化理解:人よりモノ、外交より貿易中心の」"The Loaded Language of Cross-Cultural Evaluation" (05/03/16)	美術部
05.02.18	韓国語ページ追加	黒田記念館
05.02.21	非常勤職員採用のお知らせ	管理部
05.03.03	「東文研 NEWS」no.19 追加	協力調整官 情報調整室
05.03.03	所蔵作品の公開情報更新	黒田記念館
05.03.31	研究資料検索システム伝統芸能関係三雑誌所載文献データベース外部公開開始	協力調整官 情報調整室

平成 16 年度のホームページアクセス件数一覧

・ 4月 61,229 件 ・ 5月 62,405 件 ・ 6月 62,683 件 ・ 7月 64,969 件
 ・ 8月 60,532 件 ・ 9月 34,952 件 ・ 10月 56,487 件 ・ 11月 57,240 件
 ・ 12月 61,174 件 ・ 1月 71,205 件 ・ 2月 64,885 件 ・ 3月 68,620 件
 年間アクセス総数: 726,381 件、平成 15 年度アクセス総数との対比 5,206 件減少

公開データベースの作成と運用

東京文化財研究所では、所内で作成した各種のデータベースを、情報調整室で校正したのち、公開用に変換し、研究情報として統合して、所内および外部での利用に供している。

内部公開データベース 14 種

内部公開データベースとは、所内ネットワークの端末からイントラネットを介して検索する「資料検索システム」ならびに「写真管理検索システム」で運用するファイルを指す。平成 11 年度以来、日常的に運用しており、適宜、データベースの種類増加とデータの更新をはかっている。なお、資料閲覧室における閲覧請求は、「資料

検索システム」を利用している。

現在稼働中の内部公開データベース

- ・ 定期刊行物所載古美術文献データベース
- ・ 美術関係漢書データベース
- ・ 保存修復関係図書データベース
- ・ 売立目録データベース
- ・ 『保存科学』所載文献データベース
- ・ 『謡曲界』所載文献データベース
- ・ 『幕間』所載文献データベース
- ・ 所蔵写真データベース(画像データベース)(平成13年11月より試験運用中)
- ・ 定期刊行物所載近現代美術文献データベース
- ・ 伝統芸能関係図書データベース
- ・ 古美術展覧会カタログデータベース
- ・ 近現代美術展覧会開催情報データベース
- ・ 近現代美術展覧会カタログデータベース
- ・ 『能楽画報』所載文献データベース

画像データベースは画像情報室の運営(情 06-04-4/5)の一環として、別途に「写真管理検索システム」を構築しデータ登録作業を進めているが、作品の所蔵者との関係から現在のところ内部公開に限定している。

外部公開データベース8種

外部公開データベースとは、外部からインターネットを介して検索する「研究資料データベース検索システム」上で運用するファイルを指す。東京文化財研究所で作成する共用データベースは、まず所内のイントラネット上で運用し、その運用実績を確認したものから、適宜、インターネットを通して、外部へ公開するという手順を踏んでいる。このような手順を踏むことで、1)内部公開の運用実績を通して、外部公開の前に、内部的な運用評価を経ることができ、2)内部公開データベースのデータは外部公開データベースに何らかの支障が発生した場合のバックアップともなる。本年度は、新たに2種のデータベースを公開した。

現在稼働中の外部公開データベース (<http://archives.tobunken.go.jp>)

- ・ 美術関係漢書データベース
- ・ 近現代美術展覧会開催情報データベース
- ・ 保存修復関係図書データベース
- ・ 古美術展覧会カタログデータベース(平成16年9月から運用開始)
- ・ 伝統芸能関係三雑誌所載文献データベース(平成17年3月から運用開始)
- ・ 売立目録データベース
- ・ 伝統芸能関係図書データベース
- ・ 近現代美術展覧会カタログデータベース

黒田清輝関係資料は、ホームページ上で文字テキスト・作品画像等を網羅的に公開している (<http://www.tobunken.go.jp/kuroda/index.html>)

外部公開データベースの平成16年度アクセス状況

- ・ 4月 13,590件
- ・ 5月 16,690件
- ・ 6月 21,922件
- ・ 7月 16,796件
- ・ 8月 14,102件
- ・ 9月 15,862件
- ・ 10月 14,528件
- ・ 11月 15,346件
- ・ 12月 19,499件
- ・ 1月 16,501件
- ・ 2月 14,446件
- ・ 3月 15,129件

年間アクセス総数：194,411件、平成15年度アクセス総数との対比 88,492件増加

研究組織

山梨絵美子、綿田 稔、皿井 舞、中村 節子、中村 明子
(以上、協力調整官 情報調整室)



研究資料検索システムのトップページ

黒田記念館における作品の展示公開 常設展（ 美 20-04-4/5）

黒田記念室は当研究所の創設に深く関わった、帝国美術院長子爵黒田清輝の功績を記念するために設けられた陳列室であり、黒田清輝の油彩画、素描、写生帖等を収蔵公開している。

創立当時、主として黒田家から寄贈されたものは、油彩画 125 点、素描 170 点、写生帖等であるが、その後黒田照子夫人、樺山愛輔、田中良氏等からの寄贈が加わった。収蔵品の主なものは、「湖畔」「智・感・情」（以上二作品は、国指定重要文化財）「花野」「赤髪の少女」「もるる日影」「温室花壇」などである。

2001（平成 13）年 1 月より、二階部分の改修工事が行われ、従来の黒田記念室に加え、会議等に使用していた陳列室も展示室に改修、二室がギャラリーとなり、黒田清輝の作品を約 50 点展示できるようになった。また、旧美術研究所所長室も、公開のスペースに改め、美術研究所時代の写真を展示し、パーソナルコンピューターを設置し、来館者にホームページを見ていただくコーナーとして活用するようになった。平成 14 年度 9 月からは、これまでの木曜日公開にくわえ土曜日も公開。平成 15 年度は 7 月から 9 月にかけて改修工事を行い、リフトやエレベータの設置により施設のバリアフリー化をはかった。また同年度 10 月から記念館一階に黒田清輝作品の絵はがきや図録、額絵等、記念館のグッズを委託販売するコーナーを設けた。

今年度は、記念館 2 階の一室を会場に、「デジタル画像体験 黒田清輝の目 風景・からだ・顔」と題して、美術部と情報調整室との共同で行ってきた黒田清輝作品の光学的調査の成果を一般公開した。（会期：2004 年 6 月 10 日から 11 月 7 日まで、37 日間公開、会期中の入館者 6,796 人。なお、展示内容については、美術部研究プロジェクト「黒田清輝に関する再評価のための調査・研究 大正期美術との関連を中心に」34 頁を参照。）

一般公開（無料） 毎週木・土曜日 午後 1 時～4 時

特別公開 2004（平成 16 年）11 月 1 日（月）～11 月 7 日（日）

入場者数 13,083 人（2004 年 4 月 1 日から 2005 年 3 月 31 日まで）

研究組織

田中 淳、塩谷 純、小林未央子（以上、美術部）



「デジタル画像体験 黒田清輝の目 風景・からだ・顔」会場

実寸大の「湖畔」の画像と写生地である神奈川県箱根の芦ノ湖の実景画像を展示

撮影：城野誠治

黒田記念館における作品の展示公開 地方巡回展・所蔵作品の貸与(美 21-04-4/5)

黒田清輝の作品を多数所蔵している当研究所は、黒田清輝の功績を記念し、あわせて地方文化の振興に資するために、1977(昭和52)年からの事業として「近代日本洋画の巨匠 黒田清輝」展を年1回地方において行ってきた。平成16年度は下記のように開催した。

会 場：新潟県立近代美術館 会 期：2004(平成16)年4月24日(土)から6月6日(日)

主 催：東京文化財研究所、新潟県立近代美術館 開催日数：38日

入 場 者：13,485人

陳列点数：油彩・パステル画85点、素描62点、写生帖17冊、書簡4通、日記5冊、参考出品2点、記録写真16点(以上、黒田記念館所蔵作品) その他油彩画1点、書簡1通を特別出品した。

図 録：A4版変形、182ページ

図録については、平成15年度に、出品数の増加に伴い、油彩と素描を編年的に交えた四部構成とし、図版もフルカラーにするなど従来のものを大幅に改訂し、今年度も一部改訂の上、刊行した。

また会期中、来館者にアンケートを実施し、116人から回答を得た。「良かった」77人(66%)、「まあまあ良かった」35人(30%)、「どちらともいえない」1人(1%)、「それほどでなかった」1人(1%)、「良くなかった」1人(1%)という結果であり、回答者の96%から好印象を得たことがわかる。

本年度の所蔵作品の貸与は下記の通りであった。(7件25点貸与)

・「再考：近代日本の絵画」展

会 場：東京藝術大学大学美術館、東京都現代美術館、会 期：2004(平成16)年4月10日から6月20日

作 品：黒田清輝「田舎家」(油彩画) 同「昔語り(構図)」(油彩画) 以上2点

・「開館20周年記念展 引用と複製」展

会 場：滋賀県立近代美術館、会 期：2004(平成16)年6月5日から9月5日

作 品：黒田清輝「湖畔」(油彩画) 以上1点

・「彫刻と工芸 近代日本の技と美」展

会 場：静岡県立美術館、会 期：2004(平成16)年8月24日から10月24日

作 品：高村光太郎「黒田清輝像」(ブロンズ) 以上1点

・「近代日本絵画に見る「自然と人生」展

会 場：神奈川県立近代美術館葉山、会 期：2004(平成16)年9月11日から10月17日

作 品：黒田清輝「大磯」(油彩画) 同「横浜本牧の景」(油彩画) 同「湖畔婦人」(鉛筆素描) 同「湖畔の風」(鉛筆素描) 以上4点

・特別展「新説・京美人」

会 場：京都市美術館、会 期：2004(平成16)年9月11日から11月7日

作 品：黒田清輝「草刈娘全身像」(素描) 同「草刈娘の顔」(素描) 同「草刈娘」(油彩画) 同「舞妓全身像」(素描) 同「舞妓半身像」(素描) 同「舞妓」(油彩画) 同「女の顔」(素描) 同「舞妓半身像」(素描) 同「手」(素描) 同「手」(素描) 同「男と舞妓」(油彩画) 以上11点

・「日本絵画・20世紀の草創」展

会 場：下関市立美術館、会 期：2004(平成16)年10月28日から2005(平成17)年1月14日

作 品：黒田清輝「昼寝」(油彩画) 同「写生帖」第14号、第15号、第16号、満谷国四郎「仁王像」(水彩画) 以上5点

・2005年日本国際博覧会記念特別展「自然をめぐる千年の旅 山水から風景へ」

会 場：愛知県美術館、会 期：2005(平成17)年3月11日から5月8日

作 品：黒田清輝「湖畔」(油彩画) 以上1点

研究組織

田中 淳、塩谷 純(以上、美術部)

資料閲覧室運営（情 04-04-4/5）

資料閲覧室は、研究所が所蔵する文化財関係資料のなかで情報調整室が管理する各種図書資料・写真資料等を、文化財関係研究者・大学院生をはじめ一般の方々へ広く公開している。公開日は、祝日・年末年始（12/25～1/7～）を除く、毎週月・水・金（10:00～16:30）である。公開日情報や所蔵情報はホームページ上でも提供している。

資料閲覧室に管理委託される購入及び寄贈図書資料のデータは、リレーショナルデータベースシステムで入力ならびに更新し、ネットワーク上の調整室サーバーで一元管理している。公開可能なデータは、ホームページ及びデータベースの作成・管理（情 08-04-3/4）の一環としてイントラネットの「資料検索システム」上で公開し運用評価を経た後に、適宜、インターネットを通して「研究資料データベース検索システム」上で外部に提供している。

同時に図書・雑誌・展覧会カタログ等の目録データは、5カ年計画（情 05-04-4/5）のもとで、適宜、原本照合を進め、冊子体目録として刊行している。既刊の蔵書目録 5 編 6 冊は閲覧室で利用者の検索用に提供している。

資料閲覧室にて作成・更新中の目録データベース（29 種）

- ・所蔵和漢書データベース（2003 年度まで）
- ・所蔵洋書データベース
- ・売立目録データベース
- ・和雑誌誌名データベース
- ・所蔵中国雑誌誌名データベース
- ・所蔵和雑誌巻号データベース（2002 年まで）
- ・所蔵和雑誌巻号データベース（2003 年以降）
- ・所蔵中国雑誌巻号データベース
- ・所蔵地方公共団体刊行報告書データベース
- ・展覧会データベース（2002 年まで）*1
- ・近現代作家名データベース
- ・写真原板データベース
- ・古美術文献目録データベース（明治～1965 年）
- ・美術館博物館名データベース
- ・所蔵近現代図録目次データベース（1948～1990 年）*3
- ・受入和漢書データベース（2004 年度分）
- ・所蔵簡易図書データベース
- ・所蔵美術館博物館収蔵目録データベース
- ・所蔵洋雑誌誌名データベース
- ・所蔵韓国雑誌誌名データベース
- ・所蔵洋雑誌巻号データベース（1999 年まで）
- ・所蔵洋雑誌巻号データベース（2000 年以降）
- ・所蔵韓国雑誌巻号データベース
- ・所蔵香取秀真資料関係データベース
- ・展覧会データベース（2003 年以降）*2
- ・近現代展覧会開催情報データベース（1944～2000 年）
- ・キャビネット写真データベース
- ・近現代美術文献目録データベース（1959～1990 年）
- ・所蔵古美術展図録目次データベース（1989～2001 年）*4

本年度は既存の展覧会データベース 5 種を 2 種に統合し（*1、*2）新たに 2 種の目次データベースの作成を開始した（*3、*4）。

目録所在情報に関する平成 16 年度の実績

目録所在情報の種類	29 種
目録所在情報作成件数	19,907 件
目録所在情報収録件数	578,890 件
イントラネットで公開中の目録累計数	13 種（他部作成分を含む）
目録所在情報公開件数	361,552 件（他部作成分を含む）

平成 16 年度における閲覧資料室の利用状況（但し、所内閲覧者を除く外部閲覧者）

・ 4 月	67 人	・ 5 月	55 人	・ 6 月	66 人	・ 7 月	84 人
・ 8 月	71 人	・ 9 月	95 人	・ 10 月	65 人	・ 11 月	73 人
・ 12 月	79 人	・ 1 月	57 人	・ 2 月	68 人	・ 3 月	98 人

公開日数 140 日 年間利用者数合計 878 人 平成 15 年度の利用者数との対比 184 人増

研究組織

山梨絵美子、皿井 舞、中村 節子（以上、協力調整官 情報調整室）

国際資料室の整備・公開・活用（セ 14-04-4/5）

目 的

本プロジェクトは、国際文化財保存修復協力センターの国際資料室に配置する外国の文化財や文化財保存修復事業に関する蔵書・資料の質及び量を充実させ、国際文化財保存修復協力センターでの関連の研究や事業に利用するとともに、国内外の関連分野の専門家が閲覧・利用できるようにする。同時に、資料のデータベース化を行い、利用者の便を図ることを目的とする。

成 果

資料の充実：

1) 外国の文化財や文化財保存の現状および理念、2) 文化財保存関連機関、3) 文化財保護制度、4) 日本および諸外国の文化財保護関連法令、5) 各種文化論などの分野について、書籍や映像資料、デジタルデータの購入、資料交換などによる入手を行い、資料室の充実を図った。また、昨年度に引き続き千原大五郎氏旧蔵資料の受入と整理、野口英雄氏資料の整理、および関野克氏旧蔵写真資料の追加受入を行い、日本の文化財保護行政および国際協力に関する資料が利用できるようにした。さらに、昨年度に引き続き文化財保護関連法令資料の収集・整理（データベース化）が行われている。

資料目録の作成：

国際文化財保存修復協力センター独自の分類コードにもとづき、Microsoft Access により資料の名称、出版年、分類コード等基礎データの入力・データベース化の作業を行った。今年度入力が完了した 1,185 点のデータは、「国際資料室所蔵資料目録」として出版した。

研究組織

二神 葉子、稲葉 信子、大竹 秀実（以上、国際文化財保存修復協力センター）

伝統芸能の画像・音声・映像資料のデジタル化（芸 07-04-4/5）

目 的

芸能部では、文献資料のほかに、音声・画像資料を積極的に収集してきた。上演とともに瞬時に消え去る運命にある芸能を研究するために、これらの記録は極めて貴重であるが、記録メディアの進展に伴って、より好環境のもとに保存してゆく必要がある。このため芸能部では、画像・音声・映像資料のデジタル化の推進を計画している。

成 果

本年度は、特に劣化が懸念されるオープンリール・テープに録音された音声資料のデジタル化を重点的に推進した。声明・民俗芸能・歌舞伎等を中心に媒体変換を進めるとともに、すでにデジタル化を終えた音声資料へのインデックス付与に試験的に着手した。また、寄贈資料の公開にむけて整理を行い、目録作成の準備を進めた。

研究組織

宮田 繁幸、鎌倉 恵子、高桑いづみ、飯島 満、俵木 悟、中司由起子、青木（近藤）静乃（以上、芸能部）

文化財保存に関する国際情報の収集及び研究 データベースの作成・公開 (セ13-04-4/5)

目 的

本プロジェクトは、国際文化財保存修復協力センターで実施するさまざまな調査・研究により得られた情報を、空間データベースとしてインターネットを通じて広く公開し、文化財保存国際協力を役立てることを目的とする。

成 果

空間データベースの構築：

昨年度に引き続き、東南アジア地域において、デジタルカメラとGPS受信機を用いて調査地点の位置情報および時間情報、画像情報を取得した。これらの情報を、位置情報を与えたタイの官製地図の画像および電子地図と組み合わせ、データベース上に登録し、情報の充実を図った。

旧千原大五郎氏所蔵書籍等資料の整理・データベース化：

千原大五郎氏(1916 - 1997)は、1972(昭和47)年にインドネシアにある仏教遺跡ポロブドゥールの修復に修復工事技術諮問委員として参加するなど、最初期から日本の文化財保存国際協力活動に携わってきた専門家の一人であった。2002(平成14)年5月に、千原氏が収集してきた国際関係資料が東京文化財研究所に寄贈された。その資料は、書籍、雑誌、写真など多岐にわたる。特に、ポロブドゥール修復事業に関する資料は、事業の計画段階からの会議録、書簡類、修復案、図面など豊富であり、今後の研究により事業の詳細な内容などについて明らかにすることが可能である。これらの資料のうち、一昨年度および昨年度目録を作成した書籍・雑誌および修復現場の図面などの資料を除くスライドフィルムについて、国際文化財保存修復協力センターにおいて分類・基礎データの入力を行い、「千原大五郎氏資料目録(写真編)」として出版した。

文化財保存修復に関する情報収集：

世界遺産会議や国際博物館会議への参加、外国での現地調査、国内外での資料収集を通じて、文化財保存修復に関する諸外国の情報を収集した。

研究組織

二神 葉子、稲葉 信子、大竹 秀実(以上、国際文化財保存修復協力センター)



千原大五郎氏寄贈資料

システム管理（情 02-04-4/5）

東京文化財研究所のネットワークシステムは、平成 12 年度に導入し、順調に稼働している。所内ネットワークは、3階の LAN 機械室と各フロアにそれぞれ 1GB スイッチングハブを設置し、その間のバックボーンに 1GB/s 高速光軸ケーブル（SMF ケーブル）を配線している。各フロアのスイッチングハブと研究室・居室等の間は、100MB/s の光軸ケーブルで連絡し、研究活動及び日常業務が遅滞なく円滑に遂行できる環境にある。

外部との間には Firewall を構築し、外部からの不正アクセス・ウイルス感染等に対処している。

所内システムの運用については、システム管理者を情報調整室長が担当し、各部・センターから選出された委員とともに LAN 委員会を構成し、新規メールアドレスの所得やシステム全体の日常的な運用・中長期的な更新計画、保守契約等について協議している。

計画年度 4 年目を終了するにあたり、時期中期計画でのシステム環境の効率化を目指し、システム環境の見直しを開始している。また、今年度は所外とのアクセスを既存の 1.5MB の光専用回線から 100MB の光専用回線へと改善した。

ネットワーク上のサーバーシステム一覧

- ・外部 DNS/Mail/WWW サーバー
- ・外部 NEWS サーバー（平成 16 年度より廃止）
- ・内部 DNS/Mail サーバー
- ・内部 DNS/File/Group Ware サーバー
- ・代理要求サーバー
- ・ドメインコントローラサーバー（平成 16 年度より廃止）
- ・DHCP サーバー
- ・ファイヤーウォールサーバー
- ・外部データ交換用 FTP サーバー
- ・Map 情報公開用 WWW サーバー
- ・データ公開用代理要求サーバー

ほかにイントラネット上で運用する画像サーバー、データベースサーバー、所内スケジュール管理用サーバー等がある。

研究組織

山梨絵美子（システム管理者、協力調整官 情報調整室）、蛭川 聖二（管理部 LAN 委員）、綿田 稔（協力調整官 情報調整室 LAN 委員）、津田 徹英（美術部 LAN 委員）、俵木 悟（芸能部 LAN 委員）、吉田 直人（保存科学部 LAN 委員）、森井 順之（修復技術部 LAN 委員）、二神 葉子（国際文化財保存修復協力センター LAN 委員）

画像情報室の運営・設備（情06-04-4/5、情07-04-4/5）

画像情報室では、各研究部門の要請にしたがって、文化財の研究に必要な画像を形成している。画像情報室の日常業務は、画像資料の収集・整理（情06）撮影機材、写場の設備等については、写真機材・設備（情07）の2つのプロジェクトを主体とし、適宜、他部のプロジェクトの協力を仰ぎながら、常時、最新の技術開発に即応できる体制を維持している。

画像形成作業はデジタル処理に完全移行したが、ギガ単位からテラ単位へ向けてのさらなる大容量化がすすんでいる。最先端の文化財研究に常に対応し得るためには、日進月歩の技術革新にあわせた継続的な機器や設備の更新を積極的に進めていく必要がある。

高精細デジタル画像（コンテンツ）は大容量ハードディスクに引き続き蓄積・整理しているが、昨年度より念頭においていた画像情報の共有化をはかる第一歩として、これら高精細デジタル画像の情報公開の基本的方針を固め、その為の画像処理を行った。次年度以降、資料閲覧室において順次一般公開の予定である。

画像資料の作成・整理については、昨年度に引き続き、既存の写真原板台帳より画像データベース（写真管理検索システム）への運用移行のための登録画像を作成している。昨年度、試験的にカラー・モノクロの両フィルムの並行作業を試みたが、フィルムの劣化状況を鑑み、より年次の古いモノクロフィルム（4×5）から優先的に作業をすすめることとした。また、ガラス乾板資料についても劣化が認められており、今後、早期のデジタル化を含めた検討が必要である。

今年度の高精細デジタル画像形成件数、画像データベース登録件数は以下の通りである。

高精細デジタル画像形成件数：フルカラー画像 6,356 件 特殊撮影画像 5,837 件

画像データベース登録件数：モノクロフィルムのデジタル化 19,772 件

画像データベース登録総数 29,772 件

デジタル入力機材（カメラ及びレンズ）

	品目	用途	製品名	S/N	生産国	備考
1	Camera	デジタル撮影用	sinar P3	12901	Switzerland	デジタル撮影用
2	DigitalBack		sinar m	45.1126	Switzerland	デジタル撮影用
3			sinar DigitalBack 54HR	26.1292.54	Switzerland	デジタル撮影用
4	Lens		sinaron digital 1: 2.8 f=28mm	14797219	Germany	デジタル撮影用
5			sinaron digital HR 1: 4 f=35mm	11649441	Germany	デジタル撮影用
6			sinaron digital HR 1: 4 f=100mm	11639635	Germany	デジタル撮影用
7			sinaron digital HR 1: 4 f=60mm	11636175	Germany	デジタル撮影用
8	DigitalBack	近赤外線撮影用	sinar DigitalBack 44HR	8101 44	Switzerland	近赤外線撮影用
9	Camera	デジタル撮影用	Canon EOS-1Ds	107441	Japan	黒田清輝書簡デジタルコンテンツ資料作成用
10	Lens		Canon Compact-Macro Lens EF 50mm 1: 2.5	267045	Japan	黒田清輝書簡デジタルコンテンツ資料作成用

アナログ入力機材

1	Camera	35mm用	Nikon F100	2045439	Japan	35mm 用カラ
2	Lens		NikonAF MICRO NIKKOR 60mm 1:2.8 D	3094053	Japan	35mm 用 近接撮影レンズ
3			Nikon Medical-NIKKOR Auto 1:5.6 f=200mm	121297	Japan	35mm 用 近接撮影レンズ

4			Nikon AF NIKKOR 28-200mm 1: 3.5-5.6 D	257141	Japan	35mm用 ZOOMレンズ
5			Canon Compact-Macro Lens EF 50mm 1: 2.5	267045	Japan	35mm用 近接撮影レンズ
6	Camera	645用	CONTAX 645	002891	Japan	スタジオ用カメラ
7	Lens		CONTAX Apo-Makro-Planar 4/120 T* Carl Zeiss	8798941	Japan	スタジオ用
8	Camera	4×5インチ用	sinar P2	50050	Switzerland	4×5インチ用カメラ
9			Linhof Technika	C511117	Germany	4×5インチ用カメラ(屋外用)
10	Lens		Nikon NIKKOR-AM*ED 120mm 1: 5.6	200371	Japan	4×5インチ用 近接撮影レンズ
11			Nikon NIKKOR-AM*ED 210mm 1: 5.6	300165	Japan	4×5インチ用 近接撮影レンズ
12			Schneider-KREUZNACH SUPER-ANGULON 5.6/90XL-110° MULTICOATING	14608751	Germany	4×5インチ用 広角レンズ
13			Schneider-KREUZNACH SUPER-ANGULON 1:8/90°	12468813	West Germany	4×5インチ用 広角レンズ
14			Schneider-KREUZNACH APO-SYMMAR 5.6/210 MULTICOATING	14661032	Germany	4×5インチ用 標準レンズ
15			Schneider-KREUZNACH APO-SYMMAR 1:5.6/150 1:12/265	11332779	Germany	4×5インチ用 標準レンズ
16			Schneider-KREUZNACH APO-SYMMAR 5.6/150 MULTICOATING	14682447	Germany	4×5インチ用 標準レンズ
17	Camera	8×10インチ用	TOYO -VIEW	119-1000239	Japan	8X10インチ用カメラ(屋外用)
18	Lens		Schneider-KREUZNACH APO-SYMMAR 5.6/300 MULTICOATING	14662849	Germany	8×10インチ用標準レンズ

照明機材 (Broncolor 社製)

	品目	用途	製品名	S/N	生産国	備考
1	Generator	スタジオ使用	grafit A2	200757	Switzerland	
2				200758	Switzerland	
3				200759	Switzerland	
4			primo4	180342	Switzerland	
5				180343	Switzerland	
6		海外用(屋外)	grafit A4	F064792	Switzerland	
7	Generator	海外用(屋外)	grafit A4	F064794	Switzerland	
8			TopasA4		Switzerland	
9			mobile		Switzerland	
10	Light Head	海外用(屋外)	primo	184487	Switzerland	
11				184491	Switzerland	
12				184494	Switzerland	
13				184495	Switzerland	
14		スタジオ使用		D035839	Switzerland	
15				D035841	Switzerland	
16				D035842	Switzerland	
17				PULSO F4	177090	Switzerland
18	177436	Switzerland				
19			PULSO G	F112407 F112417 G073320 G032918	Switzerland	

20		屋外使用	picolite	180142	Switzerland	
21				180143	Switzerland	
22				191045	Switzerland	
23				C121823	Switzerland	

特殊光源装置 (ROFIN 社製)

	品目	用途	製品名	S/N	生産国	備考
1	ポリライト	蛍光撮影用	ROFIN POLILIGHT PL500	1328	Australia	
2				1364	Australia	

スタンド

	品目	用途	製品名	S/N	生産国	備考
1	スタンド	スタジオ使用	Manfrotto Avenger B250x (× 3)		Italy	
2			Manfrotto Mega Boom (× 2)		Italy	

研究組織

山梨絵美子、綿田 稔、皿井 舞、城野 誠治 (以上、協力調整官 情報調整室)